



GOTANDA
五反田 清和院長

「奥の手」を探していて出会った。 痛みのポイントを感じとれることが大事 医療法人利光会 五反田病院（大分県日田市）

現病院名へ変更して約3年半。7人制ラグビー日本代表のチームドクターも務める五反田院長が求めるのは、施術者が患者様に触れ、痛みや不調をしっかりとらえた上での「施療」。「インディバ®・アクティブ」は、単に身体に当てる機器ではなく、施術者が身体に触れることで、状態を知ることができるところが大きなメリットと話します。

——ご導入のきっかけは。

五反田院長 多方面で活躍されているスポーツドクターの上司より、「いい機器があるよ」と教えていただいたのが「アクティブ」を知ったきっかけです。院にも物療機器は置いてありますが、慢性期の患者様の中には、痛みがなかなかとれない方も多く、「奥の手」になるものはないかと探していたので、実際に体験し、日本臨床スポーツ医学会のブースでも見せていただきました。機能としては、干渉波や超音波よりも深部まで効果を発揮できるというところが大きかったのですが、単に機器を患者様に当てるのではなく、施術者が患者様に触れるので、痛みが出ているところをピンポイントで感じとれることも、導入の重要な要素になりました。筋肉の硬い部分と柔らかい部分は人それぞれであり、触って患者様の状態を把握できることはとても大事なのです。

——アスリートもよく訪れるそうですが、「インディバ®・アクティブ(以下「アクティブ」)」に対する反応はいかがですか。

五反田院長 トップアスリートほど早い結果を求めますが、他の機器と組み合わせたり、他機器のあとに使用すると、まさに痛みが「0」になって帰っていくことが多いので、評価は高いですね。「温かさが持続するので良い」という声も多いですが、これはトップアスリートの方がたからも聞いています。

「アクティブ」の引き出しを増やしていきたい

——一般の方への活用方法や反応を教えてください。

楢崎PT 施術前に痛みや可動域の確認をまず行い、施術後はどう変わったかを必ず聞くようにしています。痛みの消失や軽減はもちろんですが、「動きやすくなった」「力が入りやすくなった」という声をよく聞きます。

石橋PT 患者様の声は「アクティブ」への何よりの評価なので、そこから気づかされることも少なくありません。

森トレーナー 同じ疾患で「アクティブ」を受けた方、受けない方の比較で、受けた方は疼痛の軽減や柔軟性の向上などで差異がありました。実際「アクティブ」を求めて来られる患者様もいらっしゃいますよ。

——今後の展開についてお聞かせください。

石橋PT 今秋「スポーツ施設(総合リハビリテーション施設)」が完成予定。リハビリがさらに活性化していきます。「楽しいリハビリ」を目指して「アクティブ」の利用機会もさらに拡大していくことになります。

森トレーナー 利用機会拡大に合わせてトレーナーとしても「アクティブ」の使い方、引き出しを増やしていきたいと考えています。

物療機器は複数ありますが
中心は「インディバ®・アクティブ」



(上)五反田院長を中心に、結束も固いスタッフたち
(下)胃腸科外科病院から名称を変更。地域の方々にさらなる充実の医療を展開



【施設プロフィール】

施設名:医療法人利光会 五反田病院
住所:877-037 大分県日田市若宮町395-1
電話番号:0973-23-8386
HPアドレス:http://gotanda-hosoutal.jp/
オープン年月:2014年8月
代表者名:理事長 五反田利幸 院長 五反田清和
スタッフ数:総人数150名 リハビリテーション科スタッフ19名
店舗面積:3502.49㎡(リハビリテーション室145㎡)